

進学後の生活を想像しよう

図11は大学（昼間部）の居住形態別の学生生活費の内訳です。もっとも大きな支出は、授業料です。高等教育の修学支援新制度（入学金・授業料の減免と給付型奨学金）や大学の奨学金や特待生制度などをよく調べましょう。注意が必要なのは、修学費です。授業料以外にも、教科書、参考図書、実習材料、実習旅行費など勉強するための費用がかかります。コロナでオンライン学習などに備えてパソコン等も必要です。課外活動費はサークル活動などの費用です。サークルによって、用具や遠征費などの多額の費用がかかるものもあるので、注意しましょう。

図11

（単位：円）

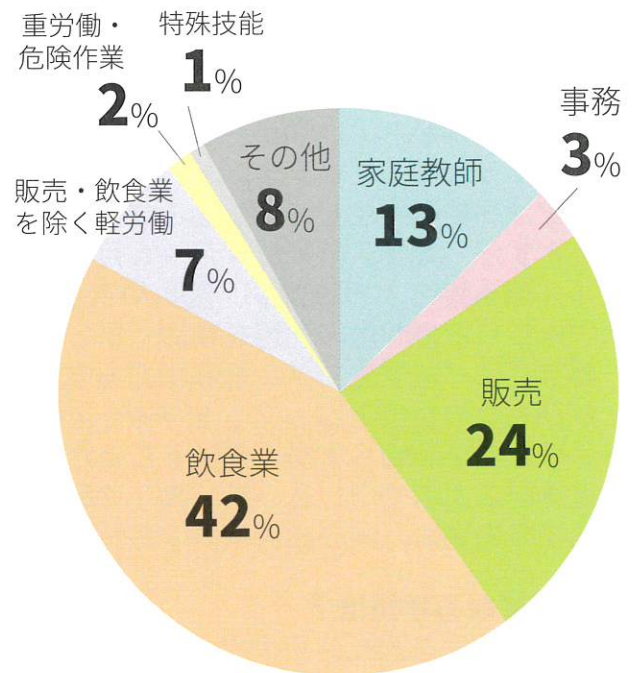
| | | 国立・アパート等 | | 私立・自宅 | | 私立・アパート等 | |
|----|----------|-----------|---------------|-----------|---------------|-----------|---------------|
| | | 年額 | 月額 | 年額 | 月額 | 年額 | 月額 |
| 収入 | 家庭からの給付 | 1,165,300 | 97,108 | 1,066,600 | 88,883 | 1,705,200 | 142,100 |
| | 奨学金 | 317,900 | 128,700 | 346,300 | 28,858 | 429,200 | 35,767 |
| | アルバイト | 345,000 | 150,100 | 445,300 | 37,108 | 378,300 | 31,525 |
| | 定職収入・その他 | 35,500 | 2,958 | 43,000 | 3,583 | 49,400 | 4,117 |
| | 計 | 1,863,700 | 155,308 | 1,901,200 | 158,433 | 2,562,100 | 213,508 |
| 支出 | 授業料 | 493,100 | 41,092 | 1,039,700 | 86,642 | 1,120,000 | 93,333 |
| | その他学校納付金 | 8,600 | 717 | 164,100 | 13,675 | 166,300 | 13,858 |
| | 修学費 | 50,300 | 4,192 | 45,000 | 3,750 | 46,500 | 3,875 |
| | 課外活動費 | 50,600 | 4,217 | 28,800 | 2,400 | 37,800 | 3,150 |
| | 通学費 | 11,400 | 950 | 97,000 | 8,083 | 24,300 | 2,025 |
| | 小計（学費） | 614,000 | 51,167 | 1,374,600 | 114,550 | 1,394,900 | 116,242 |
| | 食費 | 298,800 | 24,900 | 104,700 | 8,725 | 281,500 | 23,458 |
| | 住居・光熱費 | 507,100 | 42,258 | ・・・ | ・・・ | 458,400 | 38,200 |
| | 保健衛生費 | 37,000 | 3,083 | 39,900 | 3,325 | 38,800 | 3,233 |
| | 娯楽・し好品 | 150,600 | 12,550 | 151,800 | 12,650 | 159,900 | 13,325 |
| | その他の日常費 | 158,300 | 13,192 | 139,800 | 11,650 | 161,800 | 13,483 |
| | 小計（生活費） | 1,151,800 | 95,983 | 436,200 | 36,350 | 1,100,400 | 91,700 |
| | 計 | 1,765,800 | 147,150 | 1,810,800 | 150,900 | 2,495,300 | 207,942 |

授業期間中も半数の大学生は週3日以上アルバイトをし、長期休暇中には約7割が週3日以上アルバイトをしています。夏休みや春休みに集中的にアルバイトをして授業料などを稼ぐ学生も多いです。ただし、稼ぎ過ぎると親の扶養から外れたり、学生に納税や社会保険料の支払いが発生したりなど、逆に手取りが減ってしまうことになるので注意しましょう。年間収入が103万円を超えると親が扶養控除を受けられなくなり、130万円を超えると本人の納税義務や社会保険料の支払いが発生するなど支出が増える可能性があります。

なお、20歳になった時から国民年金に加入しなければなりません。学生については、申請により在学中の保険料の納付が猶予される「学生納付特例制度」が設けられています。本人の所得が一定以下の学生が対象となります。

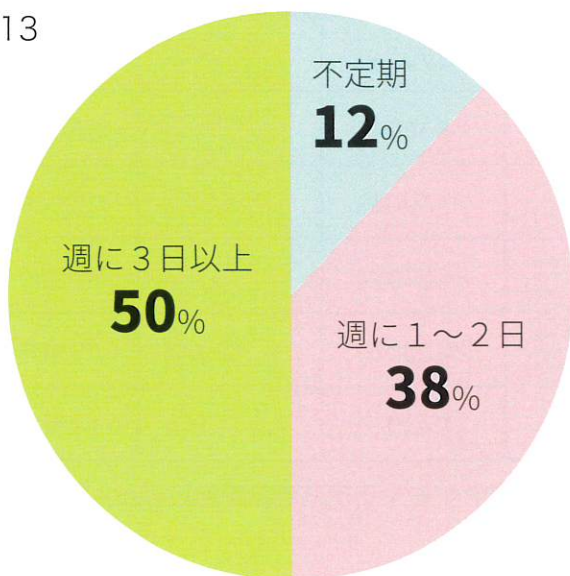
アルバイトをしすぎて成績が下がると奨学金が受けられなくなったり、単位を落として留年してしまうなどのリスクも高くなります。無理にアルバイトをしすぎず、貸与型奨学金などもうまく利用し、しっかりと学び充実した大学生活を送れるようにしましょう。

図 12



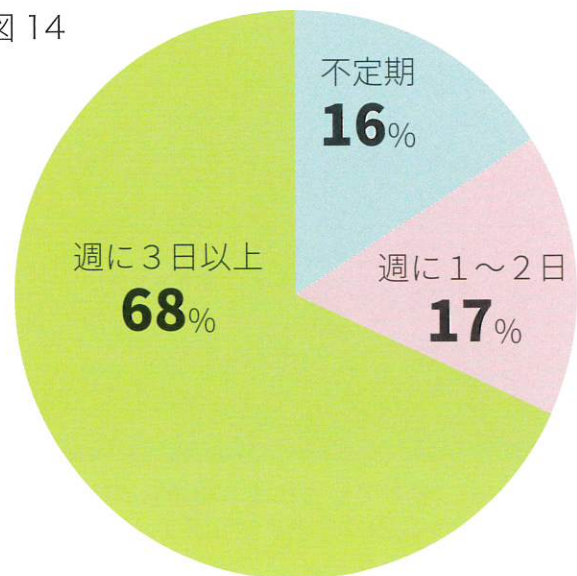
アルバイトの業種 (大学昼間部)

図 13



アルバイトに従事した日数 (授業期間中)

図 14



アルバイトに従事した日数 (長期休暇中)